

視察研修報告書

会議等の名称	埼玉中部環境保全組合新たなごみ処理施設等地元協議会の視察研修
開催日時	令和6年7月17日(水) 8:00 ~ 17:30
視察目的	新たなごみ処理施設等地元協議会では、施設建設における周辺環境の保全や地元対応などを協議しており、今回の視察研修はこれらの協議にあたり、先進事例を視察し、今後の参考とすることを目的とする。
視察先	<p>1 エコパークしおや 所在地：栃木県矢板市安沢3640番地 運営：塩谷広域行政組合 処理能力：114t/日(57t×2炉) 竣工：令和元年9月 処理対象：エネルギー回収型廃棄物処理施設(可燃ごみ処理施設)とマテリアルリサイクル施設(不燃ごみ処理施設)で構成されており、エネルギー回収型廃棄物処理施設では可燃ごみ、可燃性粗大ごみ等を焼却処理し、その際発生した熱により発電しており、マテリアルリサイクル施設では、不燃ごみ、不燃性粗大ごみ、ビン、ペットボトルなどの資源化を行っている。温浴施設あり。</p> <p>2 クリーンセンター下田原 所在地：栃木県宇都宮市下田原町3435番地 運営：宇都宮市 処理能力：190t/日(95t×2炉) 竣工：令和2年5月 処理対象：クリーンセンター下田原は、可燃ごみ及び可燃性粗大ごみの処理を行っている。この施設は、宇都宮市に2箇所ある可燃ごみ処理施設の1つで、蒸気タービン発電機を有し、余剰電力をLRT(次世代型路面電車システム)などに供しているほか、売電も行っている。温浴施設なし。</p>

<p>視察先位置図</p>	
<p>参加者</p>	<p>委員 15名 組合事務局 5名 構成市町職員 6名</p>
<p>視察内容</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 エコパークしおや <ol style="list-style-type: none"> (1) 施設説明 (2) 施設見学 (3) 質疑応答 2 クリーンセンター下田原 <ol style="list-style-type: none"> (1) 施設説明 (2) 施設見学 (3) 質疑応答
<p>配布資料</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 エコパークしおや <ul style="list-style-type: none"> ・ パンフレット ・ エコパークしおや概要 ・ 塩谷広域行政組合の取組 ・ 事前質問表 2 クリーンセンター下田原 <ul style="list-style-type: none"> ・ パンフレット ・ 事前質問表

視 察 内 容

1 エコパークしおや

(1) 施 設 説 明

所 在 地：栃木県矢板市安沢 3 6 4 0 番地

竣 工：令和 2 年 3 月

敷地面積：3 6, 1 1 7. 3 5 m²

施設規模：可燃ごみ 1 1 4 t / 日、不燃ごみ・不燃性粗大ごみ 1 2 t / 5 h、
資源びん 6 t / 5 h、古紙類 1 t / 5 h、ペットボトル 2 t / 5 h

構 造：鉄筋コンクリート造、鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨造（地上 5 階建て）

(2) 施 設 見 学



会議室での説明



パネル展示説明



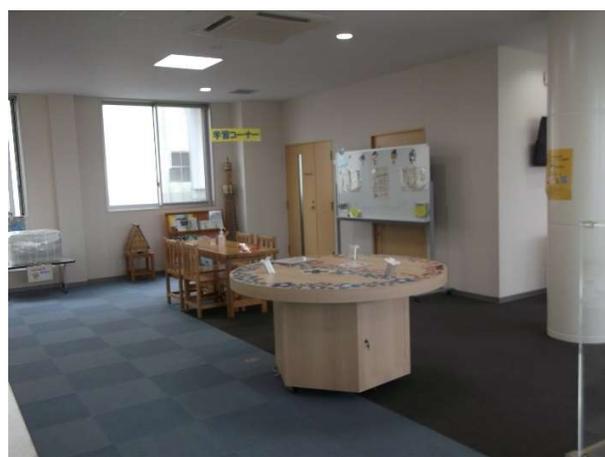
プラットフォーム



中央操作室



資源びん分別状況



学習コーナー



再生品展示



余熱利用施設

(3) 質 疑 応 答

発言者	内 容
エコパークしおや A委員	事前に提出した質問表を説明。
エコパークしおや B委員	調理室の水道は災害時にも使えるのか。
エコパークしおや B委員	災害時用にペットボトルの飲料水を確保している。
エコパークしおや B委員	施設脇の河川は氾濫した経緯があるか。
エコパークしおや	上流部で氾濫した経緯があるが、施設付近での氾濫はない。

2 クリーンセンター下田原

(1) 施設説明

所在地：栃木県宇都宮市下田原町3435番地

竣工：令和2年5月

敷地面積：19,300m²

施設規模：可燃ごみ190t/日

構造：鉄筋コンクリート造及び鉄骨造（地上4階建て）

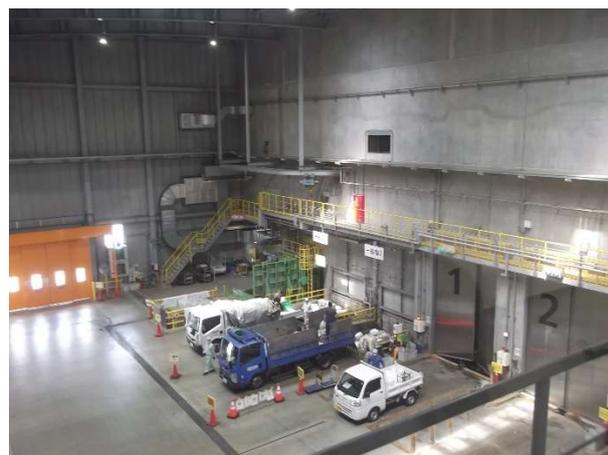
(2) 施設見学



会議室での説明



リサイクル学習施設



プラットフォーム



ごみピット内



焼却灰・飛灰



ストーカー炉学習施設



発電状況



台貫

(3) 質 疑 応 答

発言者	内 容
クリーンセンター 下田原	事前に提出した質問表を説明。
C委員	発電に対する売電の割合はどのくらいなのか。
クリーンセンター 下田原	発電の約3/4を売電している。